

にほんご発音ラボ

ぎおんご ぎたいご 擬音語・擬態語



ぎおんご ぎたいご 擬音語・擬態語^{注1}

日本語では“動物の鳴き声”や“ものの音”、“ものの様子”や“人の気持ち・動作の様子”などを短い語であらわすことがあります。話しことばでよく使われるため、覚えておくと便利です。

例) ①馬の鳴き声



ヒヒン

②強い雨の音



ザーザー

③きれいに磨いた窓ガラス



ひか ひか

④油っぽくない揚げ物



からっと

⑤驚き



びっくり

⑥怒り



かんかん

⑦静かによく眠っている様子^{注2}



すやすや

⑧内緒で話す様子



ひそ ひそ

★上の①②のような語を「擬音語」、③～⑧を「擬態語」といいます。

👉 “ひらがな” “カタカナ” のどちらで書くかは、基本的に自由です^{注3}。



♪キラキラ♪

なんて素敵な土曜日の午後！ “あの人に会えるかもしれない” と思うだけで、わくわく・ドキドキします。歌詞の中でキラキラと輝いて見えるものは何ですか。ミュージカルの主人公になったつもりで、3拍子に乗って歌いましょう。

- 擬音語と擬態語は「オノマトペ」ともいいます。
- よく眠っている時の“寝息の音”もあらわします。
- 音をあらわす擬音語はカタカナで書くことが多いです。

にほんご発音ラボ

ことばと表現 ひょうげん

- ▶のら猫：飼い主のいない猫（犬の場合は「のら犬」）。
ねこ かぬし ねこ いぬ ばあい いぬ
- ▶～ふり（を）する：実際の状態や本当の気持ちとは、わざと反対のように振る舞うこと（知らんぷり＝知らないふり）。
じっさい じょうたい ほんとう きも ほんたい ふ ま し
- ▶そっけない：相手に対することばや表情に、思いやりのない様子。
あいて たい ひょうじょう おも ようす
- ▶甘い風：花の蜜のような甘い香りがする風。
あま かぜ はな みつ あま かお かぜ
- ▶待ちきれず：“待ってられなくて”の意味（「～きる」は完了、「ず」は否定をあらわす）。
ま ま い み かんりょう ひてい

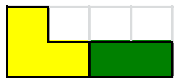
かし まな 歌詞から学びましょう



リズム型やアクセント型で整理して覚えよう

- ★擬音語・擬態語は「する」がついて、「スル動詞」になる語もあります。
ぎおんご ぎたいご どうし ご
- ☞【a】型は“下がり目”が語の最初にあります。メロディーはAD図と少し異なる場合もありますが、語頭の“下がり目”を大切に歌ってください。
がた さ め ご さいしょ ゑ す すこ こと ぼあい

♪ 2 2 【a】型 がた



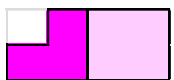
- うろうろ（する）：同じ場所を歩き回る。
おな ばしょ ある まわ
- ニコニコ（する）：声を出さずに、うれしそうに笑う。
こえ だ わら
- そよそよ：風が静かに吹く。例）春の風が～と吹く。
かぜ しず ふ はる かぜ ふ
- ふらふら（する）：目的もなく行動する。例）～出かける。注4
もくてき こうどう で
- わくわく（する）：とても楽しみにしていて、心が落ち着かない。
こころ お っ
- ドキドキ（する）：緊張して、心臓の動きが速くなる。
きんちょう しんぞう うご はや
- キラキラ（する）：美しく光り輝く。
うつく ひか かがや
- そわそわ（する）：気になることがあって、落ち着かない。
き お っ
- もじもじ（する）：恥ずかしくて、うまく話せない。
は はな
- ぐずぐず（する）：すぐに決められない。行動が遅い。
き こうどう おそ

♪ 2 2 【c】 -2型 がた



- がっかり（する）：思いどおりにならなくて、元気がない。
おも げんき
- うっとり（する）：美しいものを見たり聞いたりして、夢を見ているようないい気分になる。
うつく み き ゆめ み きぶん

♪ 2 2 【b】型 がた



- メロメロ：子どもや恋人などがかわいくて、何でも言うことを聞いてしまう。
こ こいびと なん い き

(4) 複数の異なる意味を持つ擬音語・擬態語もあります（例：風邪をひいて、頭が「ふらふら（2 2 【a】）」する。／一日中歩いて、とても疲れた。足が「ふらふら（2 2 【b】）」だ。）
ふくそう こと い み も ぎおんご ぎたいご かぜ あたま いちにち じゅうある つか あし